

メディアアドバイザー

UICC がワールドキャンサーデーにがん医療の提供を抜本的に変革すること呼びかけるグローバルキャンペーンを展開

2025年1月28日火曜日(スイス・ジュネーブ) – 国際対がん連合(UICC)は、2025～2027年のワールドキャンサーデーに「ユニークさで結ばれる(United by Unique)」をテーマとするグローバルキャンペーンを展開します。本キャンペーンでは、ピープルセンタードケアの実現に向けて、世界のがん医療と医療制度を抜本的に変革する呼びかけを行います。ワールドキャンサーデーは毎年2月4日に行われます。

2022年の推計によると、全世界で新たに約2,000万人のがんに罹患し、約970万人が死亡したとされています。約5人に1人が生涯に一度はがんにかかるといわれていますが、がんの経験は人それぞれ異なります。がんは200種類以上の病型(病気のタイプ)があり、各病型に特異的な治療が必要なうえ、がんになった人の生活状況も、社会経済的背景、価値観、好みも含め異なります。

このような差異や特異性に適切に対応するため、ピープルセンタードケアは、疾患だけでなく、市民と地域社会をケアの中心に置いています。それは適切なタイミング、適切な場所、適切な方法で、各人のニーズに合った保健医療サービスとがん治療を提供することを意味します。また、市民にも自分の健康問題の解決に積極的に参加し、役割を担う力が求められます。

「市民と地域社会を意思決定の中心に据えることで、より効率的な医療システムを構築し、より思いやりのあるがん医療を提供して、生存率と生活の質の向上につなげることができます。がんにかかった人の経験やニーズは一人ひとり異なりますが、がんコミュニティはすべての人に対するがん予防、早期検出、治療、ケアの改善を目指すことで一致しています」

– ウルリカ・オーレヘッド・コーストローム、UICC 会長兼スウェーデンがん協会事務局長

ピープルセンタードケアには、地域の医療課題に応じた地域健康増進プログラム、医療従事者向け文化的能力育成トレーニング、ヘルスリテラシー向上のための取り組み、遠隔医療サービス、患者ナビゲーションプログラム、がん経験者の政策形成への参画などが含まれます。

このアプローチは患者のウェルビーイングの向上、より質の高いケア、医療従事者への信頼の向上につながります。また、患者と家族の満足度を高めると同時に、健康の公平性を促し、医療システムの全体的な有効性を改善します。

3年にわたるキャンペーンの1年目となる今年は、医療システムの障壁と格差を取り上げ、ピープルセンタードケアを実現する既存のベストプラクティスを紹介します。

ワールドキャンサーデーのウェブサイトでは市民から投稿された体験談を読むことができます。例えば、ノルウェーのクリスティンは中枢神経系原発悪性リンパ腫と診断された後、診察のたびに違う医師が診察することに打ちのめされ、無力感を感じたことを書いてくれました。インドのスカンティは、妻のソマが41歳でがんと診断され余命6か月を宣告されたとき、介護者から構造化された支援を受けることができなかつたと指摘しています。

「市民と地域社会のニーズや好みを理解し統合することで、医療システムは所得の低い人にも高い人にも、より公平な医療アクセスを実現できます。がんとともに生きる人が見守られている、話を聞いてもらえる、力づけられていると覚えることが重要なのです」

– キャリー・アダムス博士、UICC CEO

UICC の 3年間にわたる新しいワールドキャンサーデーキャンペーン

#UnitedbyUnique は、がんの経験は一人ひとり異なる **ユニーク**なものであり、ニーズも、視点も、ストーリーもそれぞれ異なることを認識しています。しかし、がんにかかった人は、「政府ががん予防を推進する政策を実施し、がん患者を適切かつ効果的に治療する医療システムを提供するようにして、より多くの人のがんを乗り越え、健康に長生きできるようにする」という共通の目標で**結ば**れています。

本キャンペーンは、がんにかかっている世界中の人々だけでなく、がん対策の強化に取り組んでいる世界中の UICC のメンバー、パートナー、団体などを支援することを目的としています。

本件に関するお問い合わせ先：

エリック・グラント

UICC コミュニケーションおよびメディアマネージャー

grant@uicc.org

携帯：+41 79 124 15 23

###

インタビュー可能な UICC の代表者は以下の通りです：

- [UICC 会長、ウルリカ・オーレヘッド・コーストローム](#)
- [UICC CEO、キャリー・アダムス博士](#)
- [UICC 理事会メンバー](#)
- [UICC 知識・アドボカシー・政策担当責任者、ソナリ・ジョンソン博士](#)

インタビューは英語、アラビア語、フランス語、ドイツ語、スペイン語で実施できます。

###

ワールドキャンサーデーについて

ワールドキャンサーデーは毎年 2 月 4 日に開催され、世界が団結してがんに対する認識を前向きかつ啓発的な方法で高める世界的な取り組みです。国際対がん連合 (UICC) が主導して開催されるこの日は、がんに対する認識を高め、世界中の政府や人々に行動を呼びかけることで、毎年何百万人も命を救うことを目指しています。ワールドキャンサーデーは世界最大の健康啓発デーのひとつです。

詳しくは www.worldcancerday.org をご覧ください。

国際がん制御連合 (UICC) について

国際がん制御連合 (UICC) は、がんに対抗するための行動を起こすことに専念する最大かつ最古の国際がん機関です。1933 年に設立された UICC は 170 以上の国と地域に 1,150 人以上の会員を擁する。メンバー基盤には、世界の主要ながんリーグや協会、研究所、治療センター、病院、保健省、公衆衛生機関、患者支援グループが含まれます。また、UICC は 60 以上の戦略的パートナーを擁している。

UICC は国際連合 (ECOSOC) で諮問地位を有し、以下の機関と正式な関係を持っています：WHO、IARC、IAEA、UNODC。UICC は、NCD アライアンス、マクケープがん法センター、国際がん制御パートナーシップ (ICCP)、シティがんチャレンジ基金、アクセス・トゥ・オンコロジー・メディシン (ATOM) 連合の創設メンバーです。

UICC の使命は、世界的ながんの負担を減らすために、がんコミュニティを統合し支援し、より大きな平等を推進し、がん対策が世界の保健および開発アジェンダ上で優先事項であり続けることを確実にすることです。詳細情報はこちらをご覧ください：www.uicc.org。